

子のわる気 親の気づき

〇〇七六



世代間ギャップとい
う言葉があります。一
般に親と子は年齢にし
て25年から30年の開き
があります。最近の若
者の言葉遣い、ファッ
ション、食習慣…、確
かに親と子の世代では
その言語や衣食住のあ
り方は異なり、世代間
のギャップは異文化と

異文化

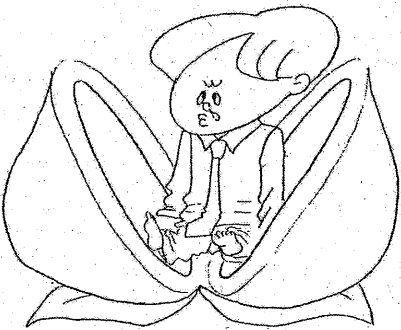
さえ言えそうです。
先週、中2のクラス
で桃太郎の一節を使っ
て日本語の助詞につい
て、授業をしました。
「昔々、おじいさん
とおばあさんがいまし
た。おじいさんは山へ
…、おばあさんは川へ
…」の「は」と「が」を
入れ替えて「…おじい
さんとおばあさんはい
ました。おじいさんが
山へ…、おばあさんが
川へ…」ではどう違う
か尋ねてみました。す

世代超え伝える子育て

と回答。半分以上の子
や金太郎という童話の
は笑いましたが、笑え
ない子も。2人目の女
の子は「犬、猿、クジ
ャク」と。再びクラス
は笑いに包まれまし
た。私も思わず笑って
しまいました。そして
3人目。自信たっぷり
に「犬、猿、キジ、ク
マ」とその男の子は一
気に答えました。全員
大笑い。私は笑いを耐
えながら「クマは金太
郎だろ!…では金太郎
は何を担いでいた?」
と聞いてみました。そ
の男の子は迷わず「な
た」と答えました。私
は驚いて、この質問も
最近の子どもたちは
個性重視の教育で育っ
てきたからでしょう
か、一人一人の内部に
ある正しさの基準が多
様化していると私は感
じています。やっても
いけないのに「やれば
できる」と断言する子、
自分なりの「頑張っ
た」と主張する子…。
世代間で正しさの判断
基準が一樣でないと思

活力ある生活へ親が手本

私は「では、言ってみ
一人ずつ答えさせてみ
て」と指名しました。ま
した。すると2人目
1人目の男の子は「鎌
と回答。そして、まさ
かりと答えられたのは
5人目の女の子に育ち
ます。実は日本人は活
力ある生活を実現する
ために、失敗を乗り越
え、成功を分かち合い
、良心と会話しながら
行動する姿勢で、流行
歌も教科書の内容も大
きく異なっているはず
です。しかし、桃太郎



by yoriko

（畑山篤志学塾塾長）

教育

歩く動作が走りに直結

陸上競技には、「走る」
跳ぶ「投げる」という

運動の根幹となる要素が
含まれています。中で

意

人体の構造として、腕を
す。腕を正しく振れない
1回転すると足が1歩出ま
とスムーズな足の運びは

できません、その回転を
るには腕を素早く振
要があるのです。

最初は歩きながら
に腕の振りを速めま
無理なくショキング
移行し、速度を上げ
きましょう。しかし
振りが速いだけでは
子。距離が一定で

三浦文学に理解深めて

八戸

短歌や小
一クとし、
三浦哲郎と
八戸市の大
本名・木村
下長中学校
講話。生徒
交流があっ
授業”を通
大な作家へ
講話は1
環。郷土の
ーマで、こ
浦さんにス
徒は午前中
などを巡っ
け、午後か
臨んだ。
大庭さん
の道に進ん